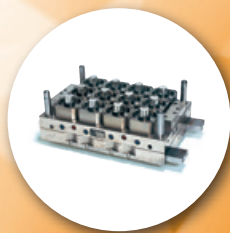


第55期 中間期

株主通信

(2019年1月1日～2019年6月30日)



PRODUCT MOTHER



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2019年12月期の中間期株主通信をお届けいたします。

社訓

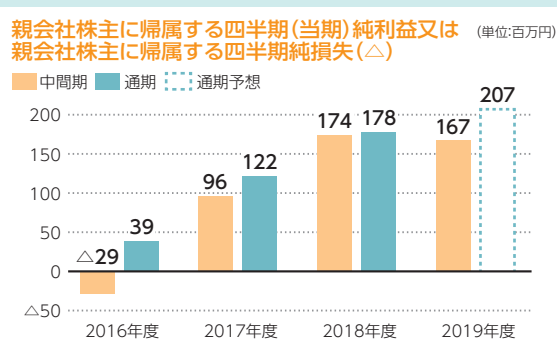
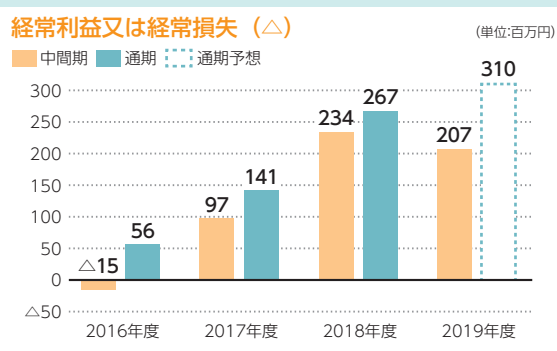
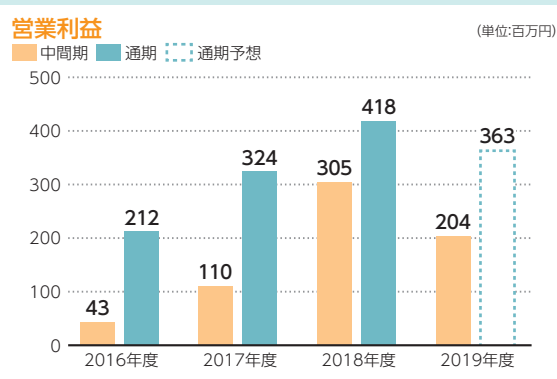
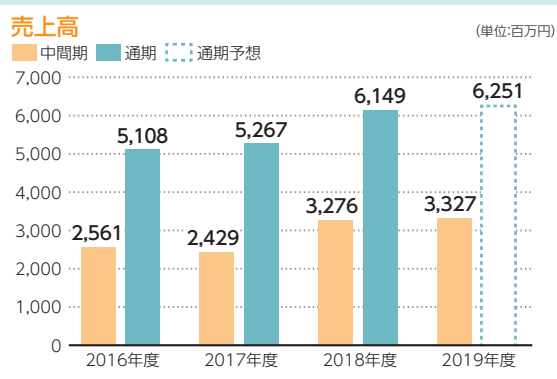
「技術は命」「良品は力」「誠意は道」

 不二精機株式会社



証券コード：6400

連結財務ハイライト



(注)各指標の金額は百万円未満を四捨五入しております。

概況

2019年度中間期の売上高は、精密金型事業では医療用関連分野を中心に堅調な受注が続いていることから、前年同期比1億4千万円増(10.0%増)の15億47百万円となりました。精密成形品事業では米中貿易摩擦の影響で中国市場での自動車用部品が減少したことなどにより、前年同期比89百万円減(4.8%減)の17億8千万円となりました。売上高合計としては、前年同期比51百万円増(1.5%増)の33億27百万円となりました。

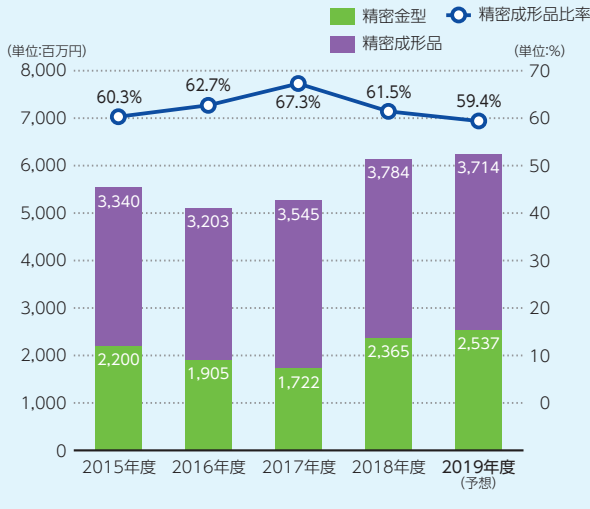
営業利益は、精密成形品事業で東南アジアでの大幅な増産準備のための先行費用の発生などにより、前年同期比1億1百万円減(33.1%減)の2億4百万円となりました。

経常利益は、インドネシアルピア高などによる為替評価益20百万円(前年同期は38百万円の評価損)が発生したことなどから、前年同期比27百万円減(11.5%減)の2億7百万円となりました。

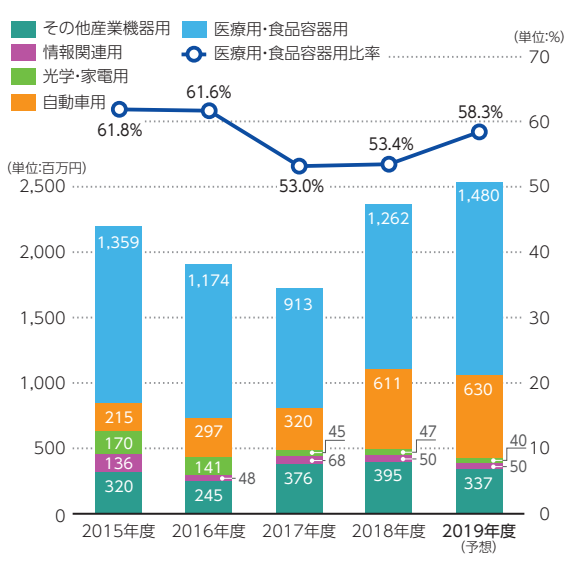
親会社株主に帰属する四半期純利益は、増産のための設備投資に対応した旧設備の除却損が32百万円減少したことなどにより、前年同期比7百万円減(4.0%減)の1億67百万円となりました。

2019年度通期は、年初の予想通り、売上高62億51百万円、営業利益3億63百万円、経常利益3億1千万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億7百万円を目指して参ります。

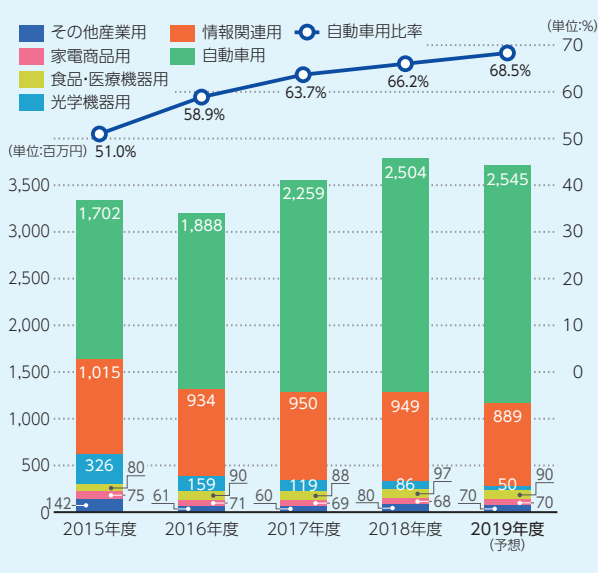
事業セグメント別売上高推移



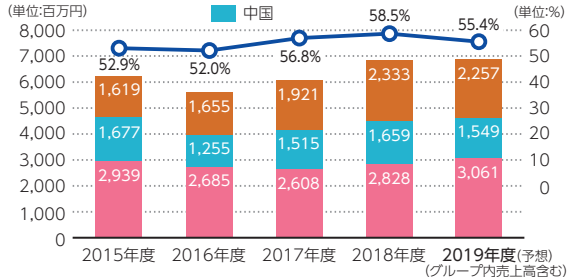
精密金型事業分野別売上高推移



精密成形品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年度以降、売上全体の60%を超えて推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用分野を中心とした精密成形品事業(下記精密成形品事業<<分野別>>資料をご参照ください)で計画しております。

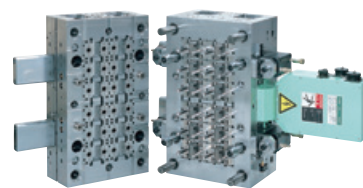
2019年度につきましては、精密金型事業で医療用関連分野での安定的な受注の増加による売上高の増加を予測しております。

精密金型事業<<分野別>>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い製品への集中を進めております。

医療用関連分野・食品容器用関連分野への受注活動に注力し、併せて研究開発活動および製造原価構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【注射器用金型】

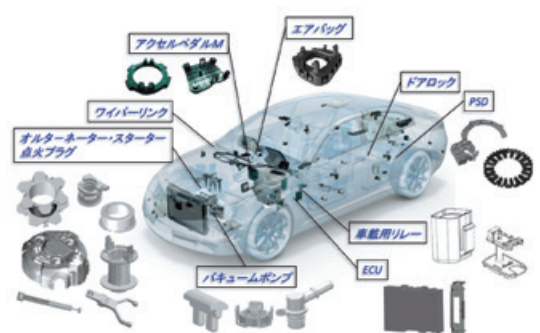


精密成形品事業<<分野別>>

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質管理体制のレベルアップを着実に実施し、増加した受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

【4輪車関連の受注部品例】



地域別

タイ・インドネシア市場では自動車部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強を進め、売上規模のさらなる拡大を目指しております。

中国市場では米中貿易摩擦や中国当局による環境規制の状況に適宜対応するため、人員削減などによる固定費の圧縮で一定の利益の確保を目指し、規模の拡大は計画しておりません。

各事業の強みと中期方針

精密金型事業

《祖業であり競争力の源泉》

強み（金型設計ノウハウと加工技術）

- ①ハイサイクル（金型の開閉スピードが速い）
- ②多数個取り（1サイクルで多数の成形品の生産が可能）
- ③不良率・バラツキの極小化（生産工程自動化に寄与）
- ④長寿命（長期に亘り安定生産ができる）

長期間・大量に生産する注射器・点滴用品など生産工程が自動化されている医療関連分野では、成形品のコストダウンと安定生産に貢献しています。

中期方針

- 高付加価値製品への集中（医療・食品・自動車関連）
- 研究開発投資の計画的な実施
- 生産性向上による利益率の改善

参入障壁の高い自動車関連部品に
参入できた要因

精密成形品事業

《金型の競争力を活用した事業展開》

強み（海外展開力と現地対応）

- ①海外展開実績（タイ・インドネシア・中国）－2001年以来
- ②金型メンテナンスなどの対応が現地で可能（成形ラインの安定）
- ③品質管理体制の着実な整備（安定供給体制）
- ④顧客の日本での開発・購買部門との連携（現地での調整低減）

中期方針

- 自動車関連部品の増産（電気自動車関連に注力）
- 東南アジア市場での生産能力拡大

特
集

従業員向け譲渡制限付株式インセンティブ制度実施



当社の企業価値の持続的な向上を図り、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的とした取締役、監査役に
対する譲渡制限付株式報酬制度の導入を2019年3月28日開催の株主総会で決議いただきました。

さらに企業価値の向上を持続的に進めるため、従業員全員を対象とする譲渡制限付株式を使用したインセンティブ制
度を2019年度中に実施いたします。

役員、従業員全員が株主となり、社外の株主の皆様と同一の目線で当社の企業価値の向上を目指し、全社一体となり
考動(当社グループでは「考えて動く」を行動理念としております)して参ります。

当社株式が貸借銘柄に選定されました

当社株式は、東京証券取引所JASDAQ市場の制度信用銘柄に選定されておりますが、この度、新たに貸借銘柄に選定
されました。

選定日は2019年7月5日(金)で、同日の売買分から実施されております。

今回の貸借銘柄への選定は、当社株式の流動性および需給関係の向上を促進し、売買の活性化と公正な価格形成に
資するものと考えております。

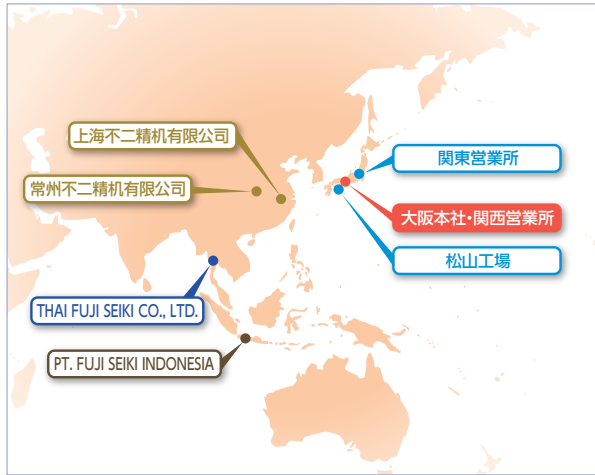
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

T
O
P
I
C
S

会社概要

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	109名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型および成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

ネットワーク



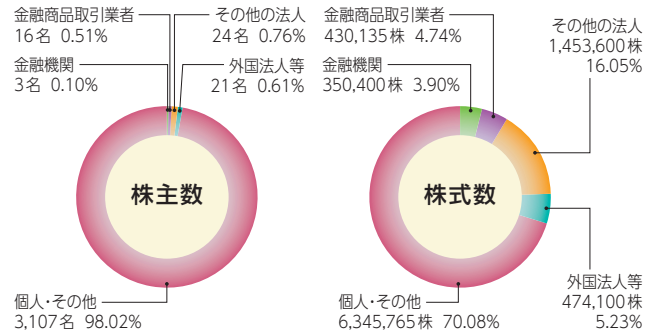
役員

代表取締役社長	伊井剛
取締役副社長	宮崎正巳
専務取締役	山本幸司
取締役	藤本由数
取締役(社外)	高橋秀昭
常勤監査役	菅一明
監査役(社外)	梅田浩章
監査役(社外)	橋本豊嗣

株式の状況

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	3,171名

株式所有者別状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.fujiseiki.com/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com/>

